

USER'S VOICE NO. 5



ユーザー紹介

名古屋大学
環境安全衛生管理室
(安全科学教育研究センター)
原田 敬章 准教授

原田先生は、過去の研究作業・実験室での事故をもとにした危険性の予測や実験に使用する化学物質の管理方法改善など、大学の研究教育現場における環境安全について研究されています。環境安全技術支援室の技術職員と協力し、学内の安全衛生に関する問い合わせにも対応されています。



ユーザーコメント

環境安全衛生管理室は、教員と環境安全技術支援室の技術職員が常駐し、名古屋大学全体の安全衛生管理を行う運営支援組織で、教職員や学部生を対象とした安全教育の実施や実験室から出る実験系廃棄物の回収などを担当しています。名大では様々な研究が行われていることもあり、思わぬ廃棄物が出てきて困惑することも少なくありません。そんな時は、技術職員として長年在籍されている**三品 太志 技師**が相談ののってくれ、どんな質問にも答えてくれるためとても心強いです。実験系廃棄物は様々ありますが、有機廃液・無機廃液・シリカゲル・ガラス・プラスチック・金属製試薬容器は、月に2度しか回収されないため、回収日には方々から持ち込まれ、あっという間に回収用のウィングトラック3台がいっぱいになってしまいます。三品さんや協力いただいている技術職員の方々は、天候が悪くても廃棄物の回収を実施しないわけにはいきませんので、雨の日も暑い日ももちろん寒い日も対応してくれています。三品さんが業者の方とやり取りし、持ち込まれた廃棄物を見極め、瞬く間に廃棄物が分別されていく様子は興味深いですよ。業務に派手さはありませんが、研究室をいくつも持つ大学にとって、こういった技術職員はなくてはならない存在です。

今回も
たくさんの廃棄物が
運ばれてきました



この回収場所では
主に工学部の研究室で出た廃棄物を回収しています



学生たちが運んできた廃液を業者の方と運搬する
保護メガネ+作業着姿の三品さん